



「花のうたに」 15号



「君待つ」 3号S

美しき刻—賛美抄歌 守みどり 日本画展

【会期】 5月2日(水)～5月8日(火)
【会場】 日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊
中央区日本橋室町1-4-1
☎03(3241)3311

もり・みどり

1968年千葉県生まれ。95年東京藝術大学美術学部日本画専攻卒業。97年同大学大学院美術研究科日本画修士課程修了。敦煌莫高窟壁画模写事業に従事(台東区買い上げ)、修了制作作品帝京大学美術館買い上げ。98年院展初入選。2001年春の院展初入選。07年春の院展奨励賞受賞(08年、12年)。08年春の院展足立美術館受賞。15年春の院展春季展賞・郁夫賞受賞(16年)、第4回前田青邨顕彰中村奨学会「中村賞」受賞、院展奨励賞受賞(16年)。16年第9回現代茨城作家美術展出品。現在日本美術院院友。

東京藝術大学で日本画を学び、院展を中心に精力的に発表を続ける守みどり。優れた色彩感覚とたおやかな造形が魅力の花鳥画には、画家の自然や画面に対する真摯な向き合い方が垣間見える。先人に学びながら現代に生きる独自の世界観を込めた作品からは、古来より描かれてきたモチーフを伝統技法で表現する、日本画家としての姿勢が自然と立ち上がる。

また少女をモチーフにした人物画からは、ふとした表情から守が本来持っている優しい愛情が感じられる。背景の色彩とのコントラストが美しく、幻想に満ちたユートピアを連想させる。

これまで全国のデパートで数多く発表してきたが、同店では初個展となる。今展では猫やうさぎといった小動物を描いた小品も含め、約30点の新作を展観する。

(編集部)



「空薫」 10号P